記入見本：妻が外国籍の場合

婚　姻　届

令和　7　年　6　月　20　日　届出

在シンガポール日本国　大　使　殿
~~総領事~~

受理　令和　年　月　日
第

通　知

この欄に記入した外国籍妻の氏名（原則カタカナ）が、戸籍に記載されます。小書き文字（例：ッ）を使用する場合は、文字サイズを明確に小さく記入してください。

【夫の欄】 戸籍に記載の通り、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。
【妻の欄】 国籍を記入してください。

フリガナはカタカナで記入

		夫になる人	妻になる人
(1)	（フリガナ）	ガイム　ショウイチ	タン　メイリン
	氏名	氏：外務　名：省一	氏：タン　名：メイリン
	生年月日	昭和　60　年　8　月　28　日	西暦　1990　年　2　月　20　日
(2)	住所	シンガポール共和国 ナッシムロード16　03－10号	シンガポール共和国 左に同じ
(3)	本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）	東京都目黒区 下目黒二丁目19　番地 番 筆頭者の氏名　外務　一郎	シンガポール共和国 番地 番 筆頭者の氏名
	父母及び養父母の氏名 父母との続き柄（右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください）	父　外務　一郎　続き柄　長男 母　小春	父　タン　ウヨン　続き柄　二女 母　リー　ポーリン
		養父 養母	続き柄　養女
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☐夫の氏 ☐妻の氏 新本籍（左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 東京都目黒区下目黒二丁目19　番地 番	
(5)	同居を始めたとき	平成・令和　5　年　12　月（結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください）	
(6)	初婚・再婚の別	☑初婚　再婚（☐死別　☐離別　年　月　日）	☐初婚　再婚（☐死別　☑離別　西暦2020　年　3　月　1　日）
(7)	同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫☑　妻 夫　妻☑ 夫　妻 夫　妻 夫　妻 夫　妻	
(8)	夫婦の職業	（国勢調査の年 夫の職業　01	妻の職業　00

【既に同居している方】
本欄に同居開始又は結婚式（挙行済みの場合）の年月のうち、早い方を記入。
【既に結婚式は行ったが、まだ同居していない方】
本欄に結婚式の年月を記入し、その他の欄に「まだ同居していない。」と記入。
【同居・結婚式のどちらも行っていない方】
本欄には記入せず、その他の欄に「まだ結婚式も同居もしていない。」と記入。

☑は不要

死別又は離別がある場合、該当区分に☑を入れ、日本国籍の方は和暦で、外国籍の方は西暦で、その年月日を記入。

外国籍父母の氏名は日本文字で記入

住所は日本文字で記入（コンド名は不要）

その他

令和　7年　6月　13日　シンガポール共和国　の方式により婚姻成立、　婚姻登録官　作成の婚姻証書添付。

婚姻後の新本籍を、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【新しい本籍を、婚姻前（現在）の本籍とは異なる場所に設定する方へ】
当館での婚姻届の手続きに先立ち、「新しい本籍の場所が、本籍地として設定できるか」に関して、管轄する市区町村役場にあらかじめ確認してください。

署名欄・押印欄共に、ブランクのままで当館に持参願います。届出人となる日本国籍の夫になる方に、当館窓口にて署名いただきます。（押印は任意）

届出人署名（※押印は任意）	夫　印	妻　印

職業例示表（「婚姻届に係る記入上の注意点（共通）」の項に掲載）を参照し、「最も近い職業分類の番号」又は「具体的な職業名」のいずれかを記入してください。

電話番号は、日中に連絡可能なものを記入し、メールアドレスは誤送信防止のため、読み方を補足の上、丁寧に記入してください。

Mobile: ＋65－XXXX－XXXX　E-mail: g2134q5s8_sample@ne6r7o90
ジー イチ キュー アンダーバー エム エル エヌ アール オー ゼロ